

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名：地域連携部

1 指定管理者の概要等

| | |
|-----------------|---|
| 施設の名称及び所在 | 三重県立熊野古道センター(尾鷲市大字向井字村島12番4) |
| 指定管理者の名称等 | 特定非営利活動法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク 理事長 花尻 薫 (尾鷲市野地町12番27号) |
| 指定の期間 | 平成22年4月1日～平成27年3月31日 |
| 指定管理者が行う管理業務の内容 | (1)熊野古道の歴史、自然及び文化に関する資料の収集、保管及び展示に関する業務 (2)熊野古道及びその周辺地域に関する情報の収集及び提供に関する業務 (3)交流会、体験学習会など人及び情報の交流の促進を図る業務 (4)センターの施設の利用の許可等に関する業務 (5)センターの利用料金の收受等に関する業務 (6)センターの施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務 |

2 管理業務の実施状況

| | 指定管理者の自己評価 | 県の評価 | 全期間におけるコメント |
|-----|------------|------|--|
| H22 | B | | 熊野古道に関する情報発信及び交流の拠点として、東紀州地域の自然、歴史、文化等の資源を有効に活用した様々な企画展や体験学習会、講座・講演会等を実施している。また、開館から平成21年度までの第1期に引き続き2期目の指定管理業務受託であったが、工夫と改善を行いながら、積極的に新たなことに挑戦する姿勢をもって業務を遂行してきたことは評価できる。経年からくる施設・機器の不具合等に対しても、迅速で柔軟な対応を行っている点については、これまでの経験が生かされている。第3期の指定管理業務の受託も決定しており、今後も適切な管理を行いながら、熊野古道や地域の魅力を発信し、人々の交流の拠点となる施設としての業務運営を期待する。 |
| H23 | B | | |
| H24 | B | | |
| H25 | B | | |
| H26 | B | + | |

3 施設の利用状況

| | 指定管理者の自己評価 | 県の評価 | 全期間におけるコメント |
|-----|------------|------|--|
| H22 | B | | 展示室及び特別展示室では、熊野古道や地域の自然・歴史・文化等に関する様々な企画展を途切れることなく開催し、多くの来館者を集めている。また、交流イベントや体験学習、講座・講演会等を数多く企画・開催し、幅広い層の参加者を集めて施設の有効利用を図ったことは評価できる。貸館事業についても、地域の方々はもとより県内の各種団体に利用されており、リピーターにより継続的に利用されている例も見られる。さらには、交流ロビーが地域の方々によって展示会や発表会の場として活用されており、地域での施設の認知度が高まっていることは、これまでの活動が地域に受け入れられ、その有用性が浸透していることを示している。今後も引き続き、施設稼働率を上げることが重要であり、会議室、和室、体験学習室など、貸館施設の利用拡大に向け、PR等さらなる取組を期待する。 |
| H23 | B | | |
| H24 | B | | |
| H25 | B | | |
| H26 | B | | |

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------------|-------------|--------|-------------|
| 指定管理料 | 331,257,143 | 事業費 | 76,911,609 |
| 利用料金収入 | 2,025,860 | 管理費 | 279,436,916 |
| その他の収入 | 23,641,934 | その他の支出 | 0 |
| 合計 (a) | 356,924,937 | 合計 (b) | 356,348,525 |
| 収支差額 (a)-(b) | 576,412 | | |

※参考

| | |
|---------|-------|
| 利用料金減免額 | 8,975 |
|---------|-------|

5 成果目標及びその実績

| | 指定管理者の自己評価 | 県の評価 | 全期間における成果目標及びその実績 | | | | | | |
|---|------------|------|--|--------|------------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 成果目標項目 | 目標値 | H22実績値 | H23実績値 | H24実績値 | H25実績値 | H26実績値 |
| H22 | B | | 1 施設稼働率(%) 算出式＝利用日数／開館日数×100(内部打ち合わせ利用、映像ホールの定時上映利用を除く) (注)監査の指摘を受け計算方法を修正した | 50 | 43.4 (映像ホール、及び会議室の内部的使用を除いた実績値) | 56.1 | 54.4 | 52.5 | 55.4 |
| H23 | B | | 2 事業参加者数(人) | 65,000 | 91,626 | 80,505 | 79,722 | 74,262 | 85,129 |
| H24 | B | | 3 開催事業数(回) | | | | | | |
| H25 | B | | (1)企画展 | 6 | 8 | 7 | 10 | 10 | 13 |
| H26 | B | | (2)交流事業 | 85 | 157 | 148 | 140 | 121 | 150 |
| | | | 4 情報発信(回) | | | | | | |
| | | | (1)情報誌の発行 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | | (2)PRポスターの作成 | 6 | 9 | 10 | 9 | 8 | 14 |
| | | | 5 国内外の世界遺産登録地等との連携事業(回) | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| | | | 6 学校連携事業(校) | 10 | 11 | 17 | 25 | 17 | 25 |
| | | | 7 利用者の満足度(%) | 90 | 98.1 | 97.4 | 98.5 | 98.8 | 98.4 |
| 全期間におけるコメント | | | | | | | | | |
| 算出方法が異なる平成22年度の施設稼働率を除き、成果目標の全ての項目で目標を達成している。特に利用者の満足度は90%台後半と高い数値を維持している。今後より一層、来館者のニーズを把握し、サービスの向上と事業内容の充実を図るとともに、来館者にとって親切で安全・安心な施設管理に努めることにより、事業参加者数及び施設稼働率の維持・増大に向け取り組んでいく必要がある。 | | | | | | | | | |

6 総括評価

- 1 指定期間を通じてほぼ成果目標を達成している。
- 2 熊野古道や地域資源を活用した企画展、交流イベント、体験学習、講座・講演会などを地域及び関係機関と連携しながら数多く開催し、集客交流・情報発信拠点づくりを積極的に進めている。
- 3 年間を通じてアンケート等を実施するなど、来館者のニーズの把握に努め、運営に生かしている。
- 4 収入は指定管理料が主であるが、施設の貸館、体験学習会等の開催による収入の増加を図るとともに、光熱水費など経費の節約に努めている。
- 5 来館者の安全・安心の確保のため、施設の日常点検を実施して維持管理するとともに、消火訓練や避難訓練等を実施している。
- 6 次世代育成支援対策として、親子で楽しめる体験学習を開催するとともに、幼稚園、小中学校、高校等の見学・体験学習を積極的に受け入れている。
- 7 持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動への取組のため、再生紙の利用や両面コピーの徹底など省資源に努めている。また、情報公開・個人情報保護について、適正に対処している。

このように、熊野古道に関する自然、歴史、文化等を情報発信するとともに、熊野古道やその周辺地域の資源の活用及び交流の場の提供などを行うことにより、地域の振興に寄与するというセンターの設置目的に資する運営が行われている。また、来館者サービスの向上と、施設の有効活用並びに経費縮減を図るといった指定管理者制度の導入目的に沿った運営がなされている。

平成27年度から5年間、引き続き同じ指定管理者が管理を行っていくが、地域と連携した事業の実施等により一層効果的な管理運営を図り、事業内容の充実、来館者サービスの向上に努め、経費縮減や財政基盤の強化及び県施策の実現に向けて取り組むよう、指定管理者に対し必要な助言等を行っていく。

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。